

ICIAM Board Meeting (応用数理国際評議会) の報告

三井 斌友
同志社大学理工学部

本年8月14日午前10時20分から午後6時過ぎまで、New Delhi の India Habitat Centre 会議室で、毎年開催される標記会議が開催され、筆者は学会理事会より委任を受け、学会を代表する評議員として出席した。その報告を9月の学会理事会に行ったところ、「数学通信」編集委員長より会員の皆さんにも報告をしてほしいとのご依頼を受けたので、概要を掲載していただくこととした。会議報告ゆえ、いささか無味乾燥であることをお許しいただきたい。

今回の ICIAM (イキアム) Board Meeting の New Delhi 開催は、このあと Hyderabad で開催された ICM 10 と関連させ、ISIAM の招待によるものであった。出席者は ICIAM 役員である R. Jeltsch (President), B. Keyfitz (President-Elect and Treasurer), A. Fitt (Secretary) はじめ、各加盟学会代表など約30名、日本からは日本応用数学会からの評議員である岡本久氏、大石進一氏のほかに筆者の3名であった。

(1) 会議は、President (R. Jeltsch) のあいさつで開会。その後投票権保有出席者(16名)の確認と、出席者の自己紹介。次いで、Agenda とその審議順序。全会一致で承認。また昨年 Oslo で行われた Board Meeting (ICIAM09) の議事録を全会一致で承認。

(2) President (R. Jeltsch), Secretary (A. Fitt), Treasurer (B. Keyfitz) が報告。財政状況は順調であるが、必要経費に充てるため加盟費 (membership fee) の引き上げが提案され、採決の結果満場一致承認。Large associate member society (日本数学会はこれに該当) の場合は、年額 USD 280 から 290 への引き上げ。決算・予算も承認。

(3) ICIAM Membership issues : 加盟申請はルーマニア応用数学会 (ROMAI, 昨年からの持ち越し) とフランス数学会 (SMF) の2件。SMF については満場一致承認。ROMAI については、挙手採決の結果 15 対 1 で small member society として承認。

(4) Officers の選挙について: 空席となっていた Treasurer の選出について諮られ、後任候補者の推薦はブラジル応用数学会 (SBMAC) の Jose Cuminato のみで、本人が一時退席したあと、満場一致で承認、任期は 2015 年 9 月まで。President より、来年 9 月で任期の終了する officers (Secretary, Officer-at-Large) については、来年の Board Meeting で選挙を実施することが予告。

- (5) ICIAM Bylaws の改訂の検討：事前配布資料で、主要な論点が提示。各加盟学会の ICIAM Board への代表権に関わる点は議論沸騰し、過渡的状況である現在、まだ合意には至らず、「今後検討を継続する」というまとめで終わる。合意のできた、細かい文言の修正は提案通り承認。
- (6) ICIAM2011 (Vancouver) の進捗状況に関する報告と ICIAM 2015 (Beijing) の準備状況の報告
- (7) ICIAM 2015 SPC Chair の承認：中国側から Zhi-Ming Ma (Chinese Mathematical Society 会長, IMU 理事, 62 歳) が提案され、全会一致で承認。
- (8) ICIAM Prizes : R. Jeltsch から、2011 年 Vancouver Congress で授与する受賞者は、すでに Prize Committee で決定され、9 月 20 日午前 10 時 Zürich で新聞発表することが報告され、また関連して Prize description の文言の改訂, Conflict of interest への対応などを実施ないし検討。
- (9) 外部組織との関係として, EIMI (Educational Interfaces between Mathematics and Industry) (A. Damlamian), 学術雑誌とその掲載論文に対する impact factor の問題 (D. Arnold), ICIAM の ICSU (Intgernational Council of Science) への加盟申請 (R. Jeltsch), ノルウェイ科学アカデミー Abel Prize 委員会からの要請 (R. Jeltsch) を討議。
- (10) 次回の Board Meeting は, Vancouver で開催される ICIAM 2011 Congress 最終日翌日の土曜日, 7 月 23 日に開催。ICIAM Congress と結合して (たぶん会期前に), 加盟学会 President の会議を招集したいと考えている (R. Jeltsch)。